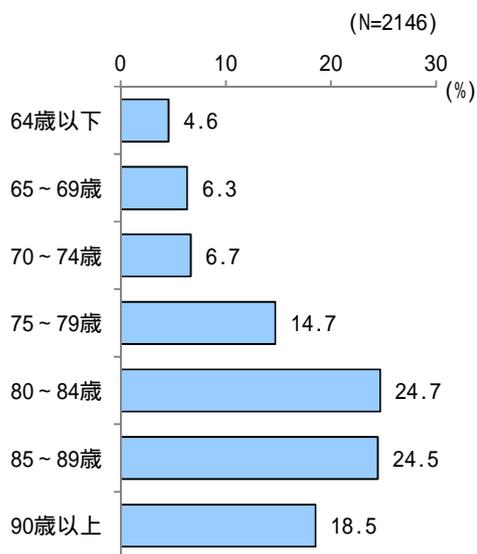


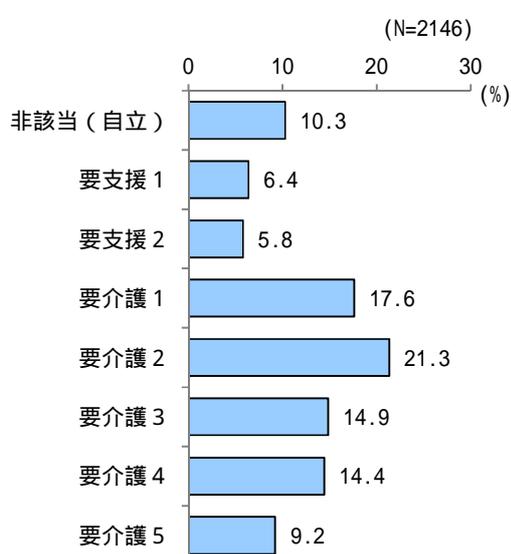
問1 入所(入院・入居)者の状況について、該当する項目に人数を記入してください。

(a) 男女別要介護度別年齢別人数

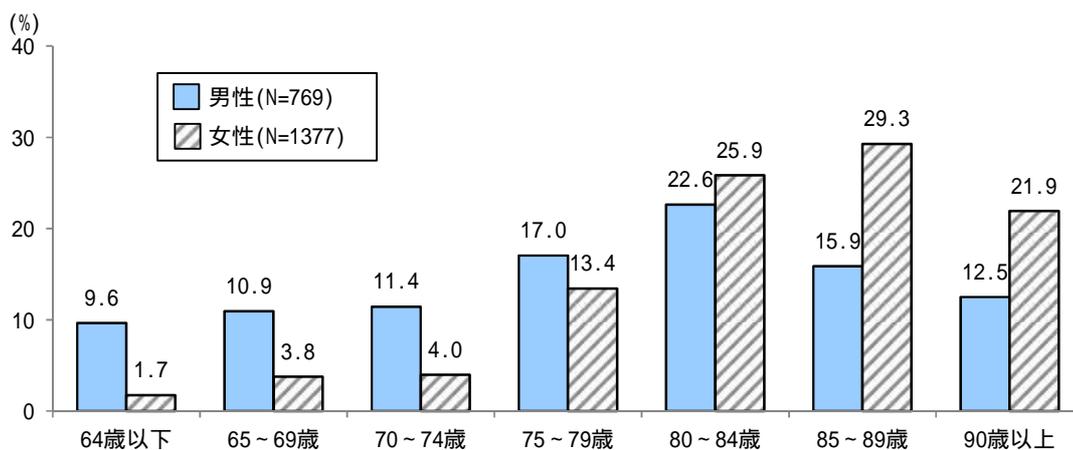
【図1 -1 入居者の状況 年齢別】



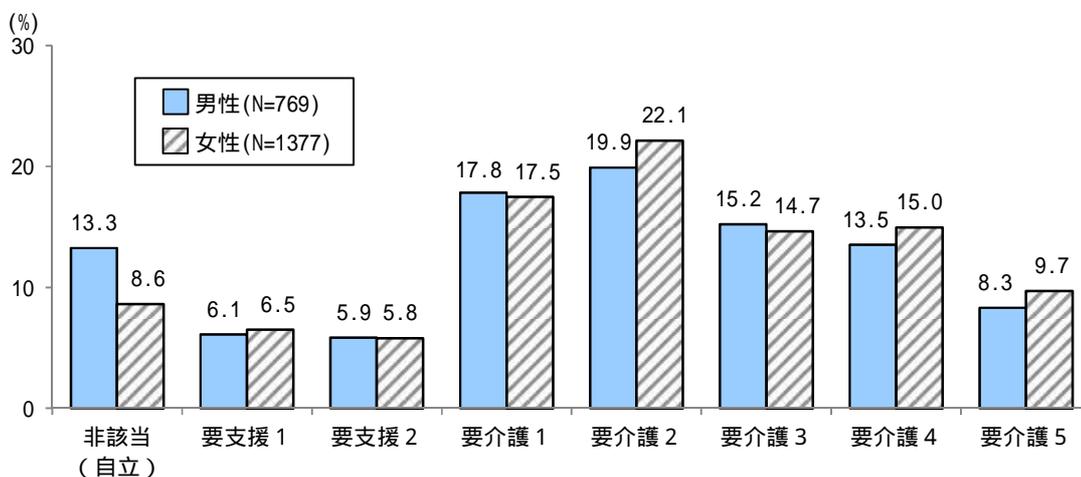
【図1 -2 入居者の状況 要介護度別】



【図1 -a 入居者の状況 年齢別・男女別】



【図1 -b 入居者の状況 要介護度別・男女別】



(b) 性別年齢別要介護度別入所者数

(人)

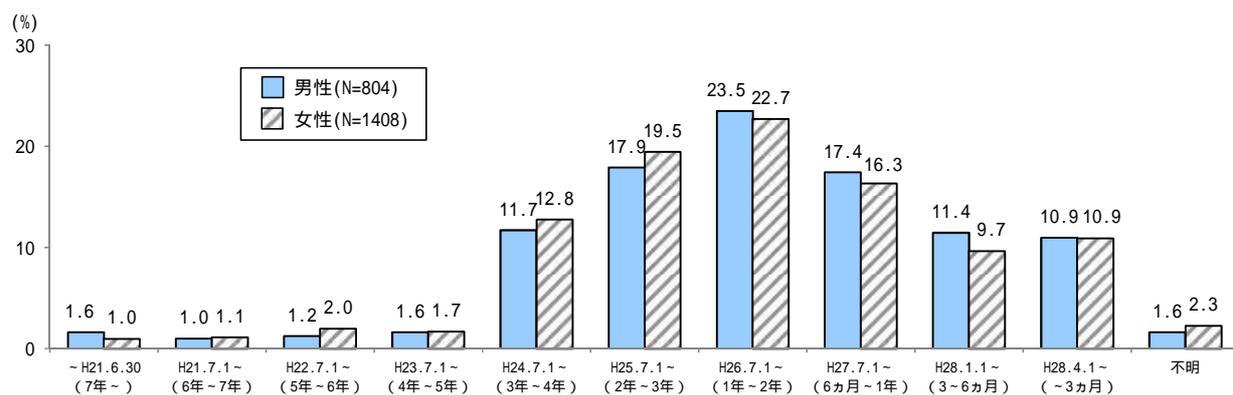
		非該当 (自立)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認知症 (再掲)	計
男性	64歳以下	26	0	3	10	9	14	9	3	4	74
	65～69歳	7	6	6	21	20	13	7	4	12	84
	70～74歳	12	1	2	13	22	16	10	12	21	88
	75～79歳	19	10	2	26	27	15	25	7	18	131
	80～84歳	20	14	15	27	34	31	19	14	26	174
	85～89歳	12	9	13	23	22	15	16	12	16	122
	90歳以上	6	7	4	17	19	13	18	12	14	96
	計	102	47	45	137	153	117	104	64	111	769
女性	64歳以下	12	1	1	0	2	4	1	3	1	24
	65～69歳	13	2	1	6	10	6	7	7	5	52
	70～74歳	16	2	3	12	7	6	4	5	8	55
	75～79歳	25	10	10	33	40	29	20	18	27	185
	80～84歳	25	29	27	70	81	42	55	27	53	356
	85～89歳	23	30	26	67	95	61	60	41	57	403
	90歳以上	5	16	12	53	70	54	59	33	36	302
	計	119	90	80	241	305	202	206	134	187	1,377
男女計	64歳以下	38	1	4	10	11	18	10	6	5	98
	65～69歳	20	8	7	27	30	19	14	11	17	136
	70～74歳	28	3	5	25	29	22	14	17	29	143
	75～79歳	44	20	12	59	67	44	45	25	45	316
	80～84歳	45	43	42	97	115	73	74	41	79	530
	85～89歳	35	39	39	90	117	76	76	53	73	525
	90歳以上	11	23	16	70	89	67	77	45	50	398
	計	221	137	125	378	458	319	310	198	298	2,146

(c) 要介護度別障がい等別人数

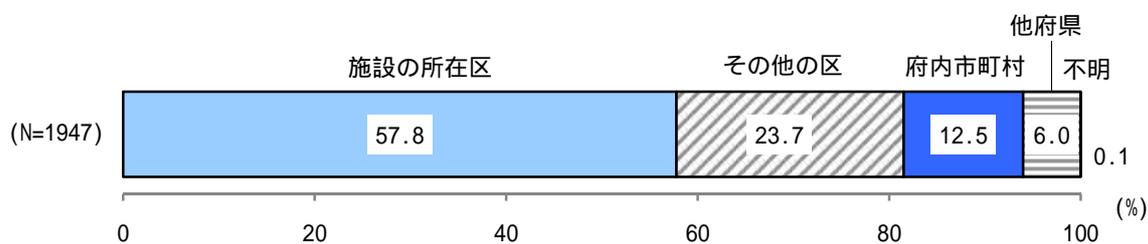
(%)

	非該当 (自立)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
視覚障がい (N=20)	10.0	5.0	5.0	5.0	35.0	10.0	10.0	20.0	100.0
聴覚障がい (N=7)	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0	100.0
精神障がい (N=44)	25.0	2.3	2.3	18.2	25.0	15.9	6.8	4.5	100.0
知的障がい (N=5)	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	100.0
認知症 (N=538)	0.0	1.5	0.9	18.0	25.5	19.7	18.8	15.6	100.0

(d) 入所・入院・入居時期別男女別人数



(e) 入所・入院・入居時の住所別人数



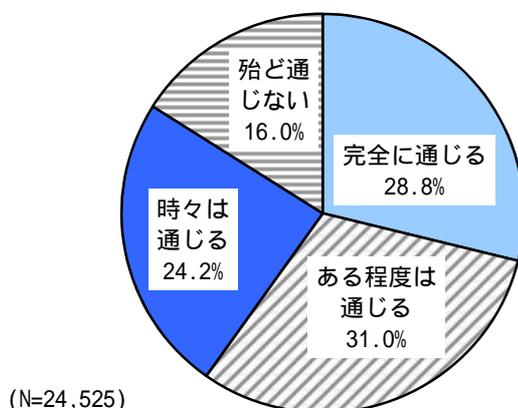
(f) 男女別要介護度別入所申込者数

	非該当 (自立)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計
男性	28	9	10	30	34	19	15	10	3	158
女性	38	18	32	57	44	32	30	22	5	278
合計	66	27	42	87	78	51	45	32	8	436

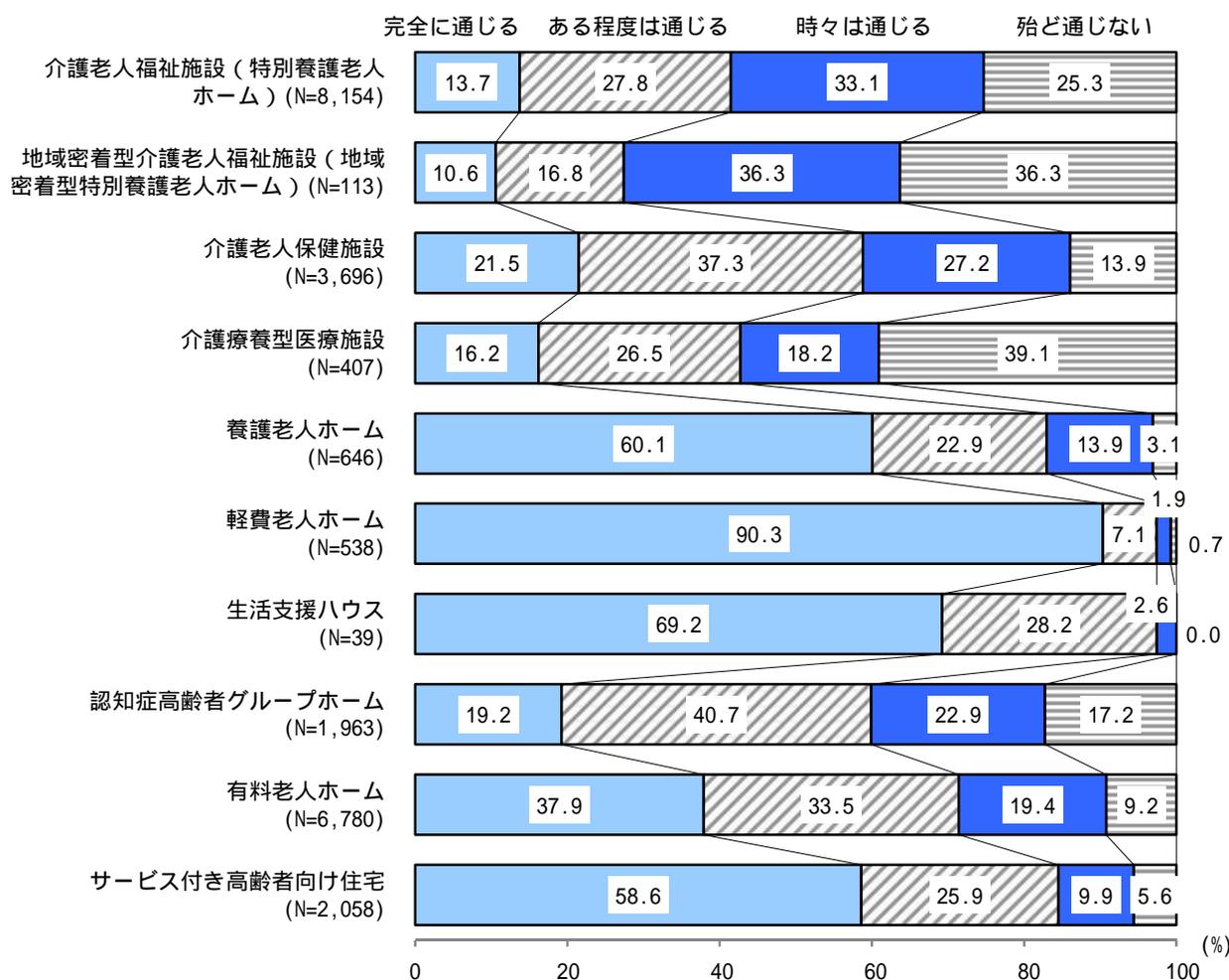
## 問2 入所（入院・入居）者の意思疎通の状況

入所（入院・入居）者の意思疎通の状況について、該当する項目に人数を記入してください。

【図2 入所（入院・入居）者の意思疎通の状況】



【図2-a 入所（入院・入居）者の意思疎通の状況（施設別）】

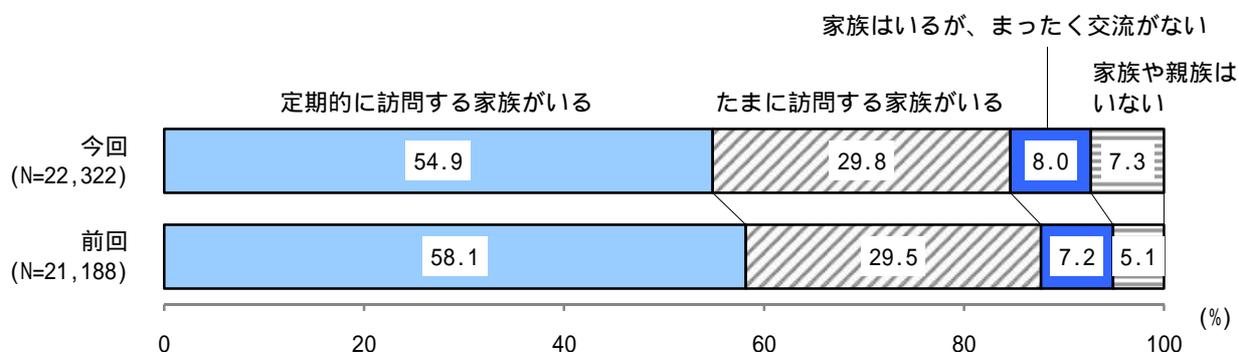


入所者の意思疎通の状況は、「ある程度は通じる」が31.0%で最も多く、『通じる』（「完全に通じる」と「ある程度通じる」、「時々に通じる」を合わせた割合）入所者の割合は84.0%となり、施設別にみると、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、生活支援ハウス、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅はいずれも9割を超えている。（図2、図2-a）

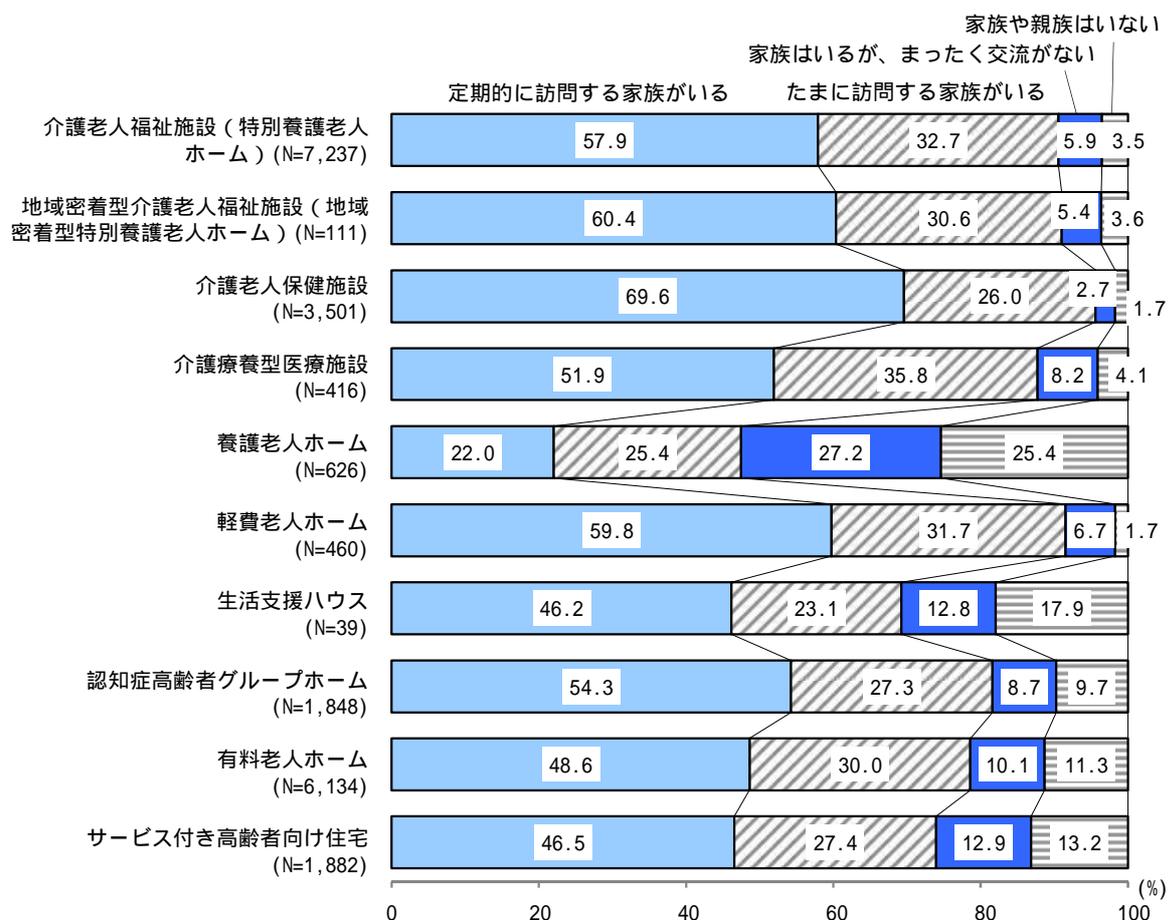
### 問3 入所(入院)者と親族との関わり程度

入所(入院・入居)者とその家族や親族とのかかわりの程度についておたずねします。該当する項目の人数を記入してください。(この設問ではショートステイによる入所者は含みません。)

【図3 入所(入院)者と親族との関わり程度】



【図3-a 入所(入院)者と親族との関わり程度(施設別)】



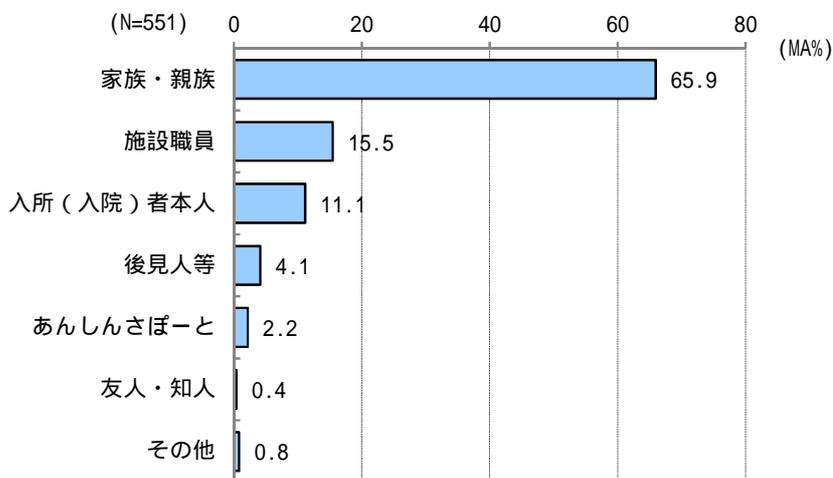
「定期的に訪問する家族がいる」入所者の割合は、全体では54.9%となり、施設別にみると、介護老人保健施設が最も高い。

前回調査と比較すると、「定期的に訪問する家族がいる」が3.2ポイント減少している。(図3、図3-a)

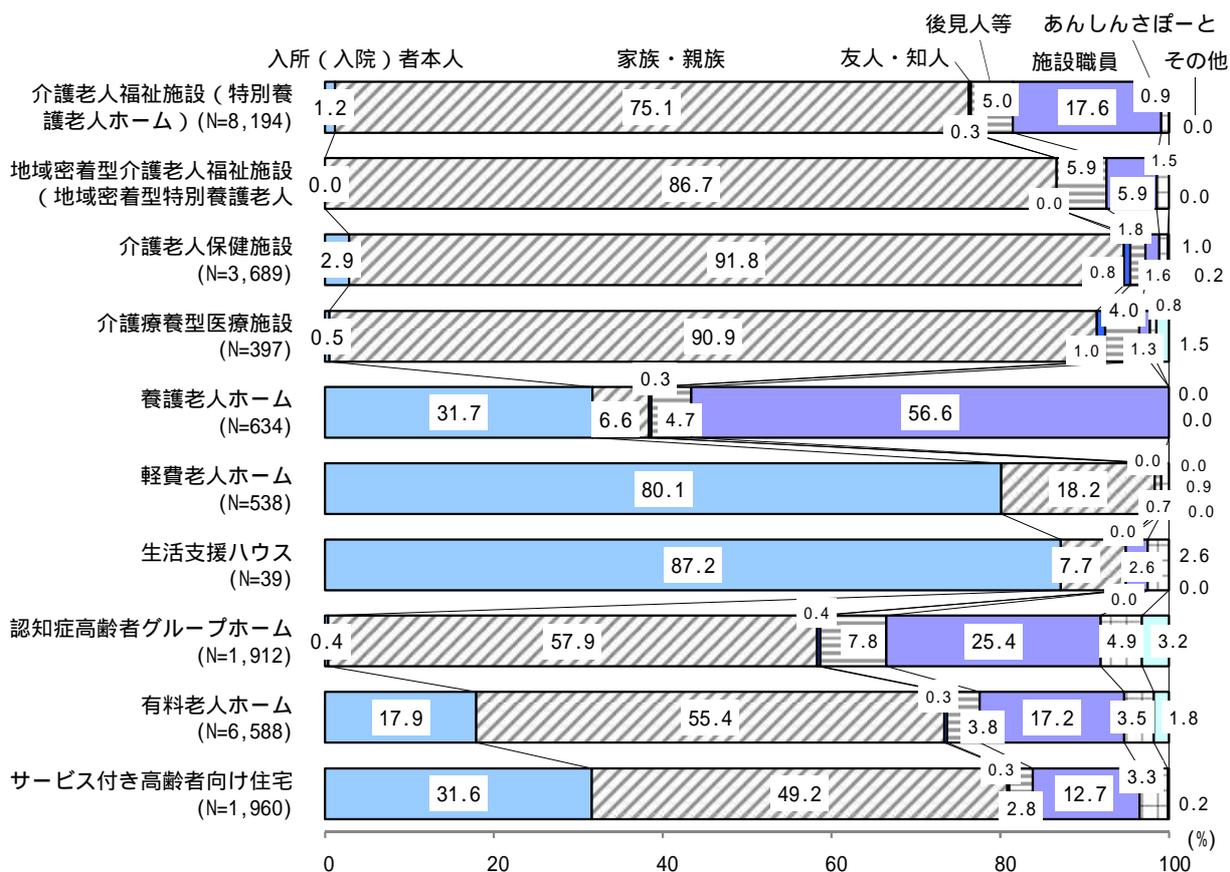
## 問4-1 日常的な金銭管理を行っている人について

入所(入院・入居)者の日常的な金銭管理を行っている人について、該当する項目に人数を記入してください。

【図4-1 日常的な金銭管理を行っている人について】



【図4-1-a 日常的な金銭管理を行っている人について(施設別)】



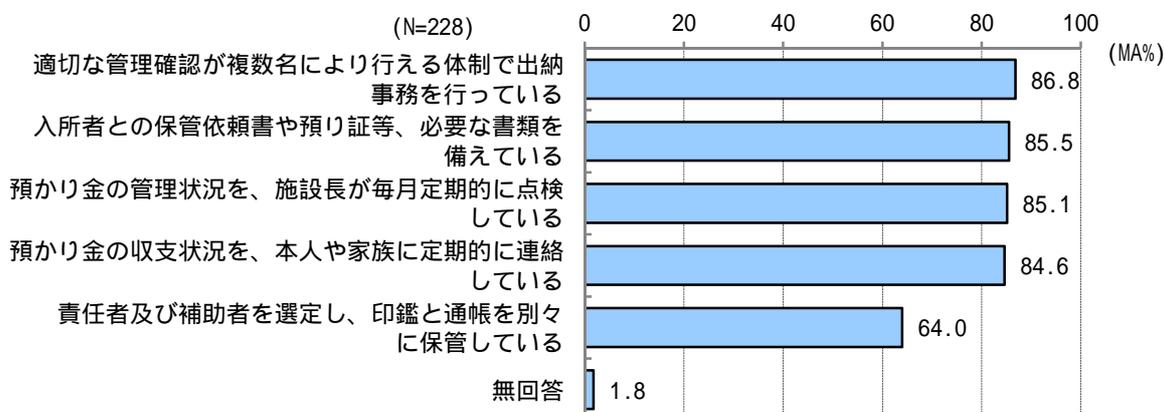
日常的な金銭管理は、全体では「家族・親族」が65.9%で最も多い。(図4-1)

施設別でみると、特別養護老人ホーム、地域密着型特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅では「家族・親族」、養護老人ホームでは「施設職員」、軽費老人ホーム、生活支援ハウスでは「入所(入院)者本人」が行っている割合が最も高い。(図4-1-a)

## 問4-2 施設職員の金銭管理について

《問4-1で、施設職員が金銭管理を行っていると答えた施設におたずねします。》  
金銭管理について、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図4-2 施設職員の金銭管理について】



【表4-2-a 施設職員の金銭管理について(施設別)】

	N	適切な管理確認が複数名により行える体制で出納事務を行っている	入所者との保管依頼書や預り証等、必要な書類を備えている	預かり金の管理状況を、施設長が毎月定期的に点検している	預かり金の収支状況を、本人や家族に定期的に連絡している	責任者及び補助者を選定し、印鑑と通帳を別々に保管している	無回答
特別養護老人ホーム	53	98.1	96.2	96.2	100.0	94.3	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	1	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
介護老人保健施設	9	100.0	44.4	66.7	55.6	22.2	0.0
介護療養型医療施設	2	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
養護老人ホーム	9	100.0	100.0	100.0	77.8	100.0	0.0
軽費老人ホーム	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活支援ハウス	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	50	80.0	84.0	82.0	86.0	48.0	2.0
有料老人ホーム	80	83.8	83.8	83.8	80.0	55.0	2.5
サービス付き高齢者向け住宅	23	73.9	87.0	82.6	82.6	65.2	4.3

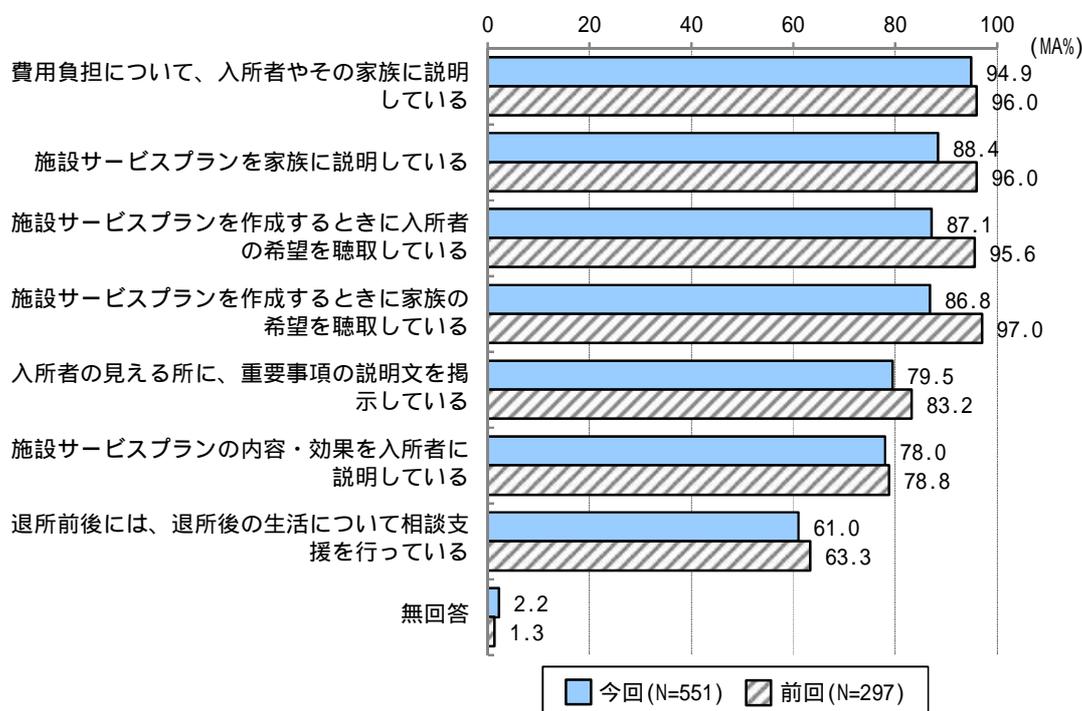
施設職員の金銭管理について、全体では、「適切な管理確認が複数名により行える体制で出納事務を行っている」が86.8%で最も多い。(図4-2)

施設別でみると、特別養護老人ホームではいずれも9割を超えている。「適切な管理確認が複数名により行える体制で出納事務を行っている」では、地域密着型特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、養護老人ホーム、生活支援ハウスで100%となっている。(表4-2-a)

## 問5 介護サービスに関する説明等の状況

介護サービスなどについて、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図5 介護サービスに関する説明等の状況（比較）】



【表5-a 介護サービスに関する説明等の状況（施設別）】

	N	(MA%)							
		費用負担について、入所者やその家族に説明している	施設サービスプランを家族に説明している	施設サービスプランを作成するときに入所者の希望を聴取している	施設サービスプランを作成するときに家族の希望を聴取している	入所者の見える所に、重要事項の説明文を掲示している	施設サービスプランの内容・効果を入所者に説明している	退所前後には、退所後の生活について相談支援を行っている	無回答
特別養護老人ホーム	93	98.9	98.9	96.8	100.0	92.5	80.6	47.3	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	5	80.0	100.0	100.0	100.0	100.0	40.0	80.0	0.0
介護老人保健施設	48	100.0	100.0	97.9	100.0	100.0	89.6	87.5	0.0
介護療養型医療施設	8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	95.0	98.3	92.4	95.0	82.4	78.2	64.7	1.7

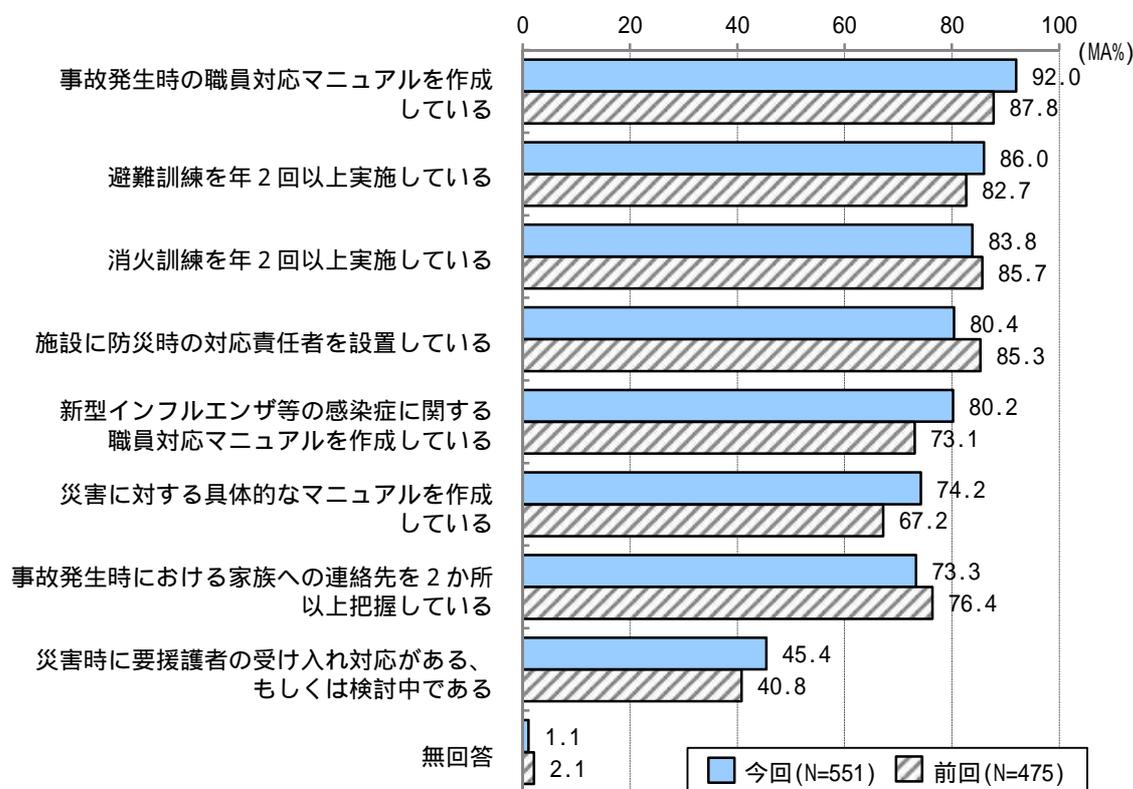
全体では、「費用負担について、入所者やその家族に説明している」は9割以上で最も多く、次いで「施設サービスプランを家族に説明している」となっており、いずれも前回より低い割合となっている。（図5）

特別養護老人ホームでは、「退所前後には、退所後の生活について相談支援を行っている」が、他に比べて低くなっている。（表5-a）

## 問6 事故や災害時の対応体制状況

事故や災害の対応について、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図6 事故や災害時の対応体制状況（比較）】



【表6-a 事故や災害時の対応体制状況（施設別）】

	N	事故発生時の職員対応マニュアルを作成している	避難訓練を年2回以上実施している	消火訓練を年2回以上実施している	施設に防災時の対応責任者を設置している	新型インフルエンザ等の感染症に関する職員対応マニュアルを作成している	災害に対する具体的なマニュアルを作成している	事故発生時における家族への連絡先を2か所以上把握している	災害時に要援護者の受け入れ対応がある、もしくは検討中である	無回答
特別養護老人ホーム	93	96.8	94.6	93.5	92.5	86.0	78.5	91.4	78.5	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	5	80.0	60.0	80.0	100.0	60.0	60.0	100.0	60.0	0.0
介護老人保健施設	48	89.6	87.5	91.7	79.2	70.8	79.2	75.0	54.2	0.0
介護療養型医療施設	8	87.5	87.5	87.5	62.5	75.0	37.5	62.5	12.5	0.0
養護老人ホーム	11	81.8	90.9	72.7	63.6	72.7	54.5	18.2	63.6	9.1
軽費老人ホーム	16	100.0	87.5	81.3	93.8	93.8	68.8	68.8	75.0	0.0
生活支援ハウス	2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	91.6	91.6	82.4	82.4	76.5	72.3	74.8	43.7	1.7
有料老人ホーム	183	92.3	84.7	84.7	79.2	84.2	79.8	69.9	35.0	1.1
サービス付き高齢者向け住宅	64	89.1	67.2	68.8	67.2	76.6	64.1	65.6	17.2	1.6

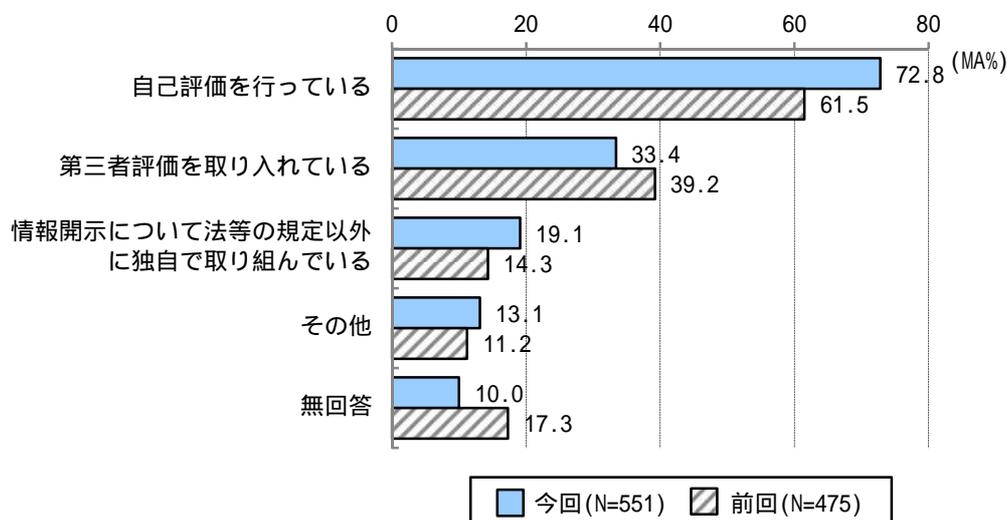
全体では、「事故発生時の職員対応マニュアルを作成している」が92.0%で最も高い。前回と比較すると、「新型インフルエンザ等の感染症に関する職員対応マニュアルを作成している」と「災害に対する具体的なマニュアルを作成している」が増加している。（図6）

施設別でみると、「災害時に要援護者の受け入れ対応がある、もしくは検討中である」は介護療養型医療施設、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅で低くなっている。（表6-a）

## 問7 サービス向上の為の取組み状況

入所(入院・入居)者へのサービスの向上のための取組みについて、あてはまるものすべてにつけてください。

【図7 サービス向上の為の取組み状況(比較)】



【表7-a サービス向上の為の取組み状況(施設別)】

	N	自己評価を行っている	第三者評価を取り入れている	情報開示について法等の規定以外に独自で取り組んでいる	その他	無回答
特別養護老人ホーム	93	72.0	26.9	20.4	21.5	9.7
地域密着型特別養護老人ホーム	5	100.0	0.0	0.0	20.0	0.0
介護老人保健施設	48	77.1	14.6	12.5	10.4	10.4
介護療養型医療施設	8	50.0	12.5	12.5	0.0	37.5
養護老人ホーム	11	36.4	27.3	9.1	27.3	18.2
軽費老人ホーム	16	12.5	12.5	12.5	25.0	43.8
生活支援ハウス	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
認知症高齢者グループホーム	119	79.0	89.9	19.3	5.9	1.7
有料老人ホーム	183	78.7	16.9	22.4	13.1	8.7
サービス付き高齢者向け住宅	64	67.2	9.4	18.8	12.5	14.1

全体では、「自己評価を行っている」が72.8%と最も高く、次いで「第三者評価を取り入れている」が33.4%となっている。前回と比較すると「自己評価を行っている」の割合が高くなっている。(図7)

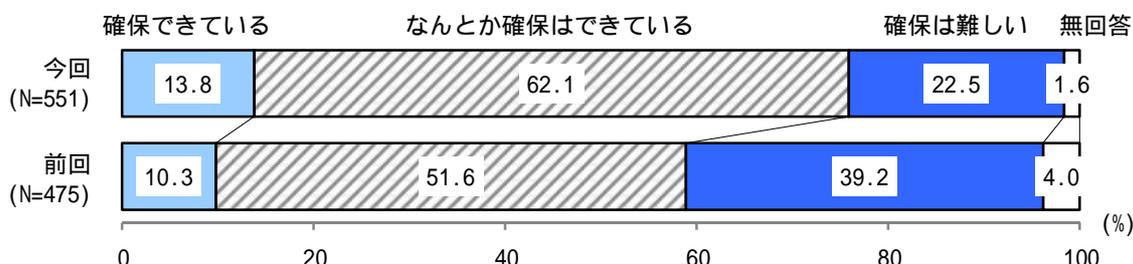
施設別でみると、認知症高齢者グループホームが「第三者評価を取り入れている」で89.9%と最も高くなっている。(表7-a)

## 問 8 (1) 福祉人材の確保の状況について

福祉人材の確保の状況及び人材確保の取組みについて、あてはまるものにつけ、その理由をお書きください。

(1) 福祉人材の確保の状況について ( はひとつ )

【図8(1) 福祉人材の確保の状況について】



【表8(1)-a 福祉人材の確保の状況について (施設別)】

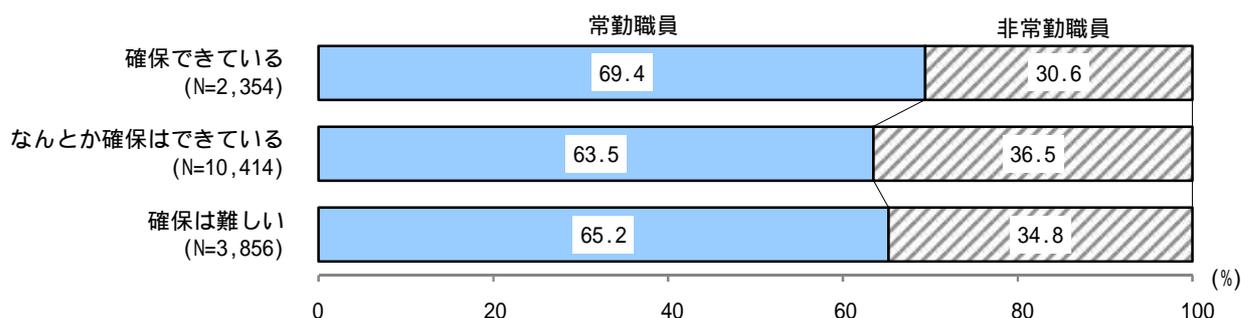
	N	確保できている (%)	なんとか確保はできている (%)	確保は難しい (%)	無回答 (%)
特別養護老人ホーム	93	9.7	63.4	26.9	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	5	0.0	40.0	60.0	0.0
介護老人保健施設	48	16.7	54.2	27.1	2.1
介護療養型医療施設	8	25.0	50.0	25.0	0.0
養護老人ホーム	11	0.0	63.6	27.3	9.1
軽費老人ホーム	16	56.3	31.3	12.5	0.0
生活支援ハウス	2	50.0	50.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	16.0	56.3	26.1	1.7
有料老人ホーム	183	11.5	70.5	16.4	1.6
サービス付き高齢者向け住宅	64	10.9	62.5	23.4	3.1

全体では、「確保できている」と「なんとか確保はできている」で75.9%となっている。前回調査では、「確保は難しい」が39.2%であったが、今回調査では22.5%となっており、16.7%減少している。(図8(1))

施設別にみると、地域密着型特別養護老人ホームでは「確保は難しい」が60.0%と高くなっている。(表8(1)-a)

福祉人材の確保の状況別に職員数をみると、確保できている施設で「常勤職員」の割合が最も高くなっている。

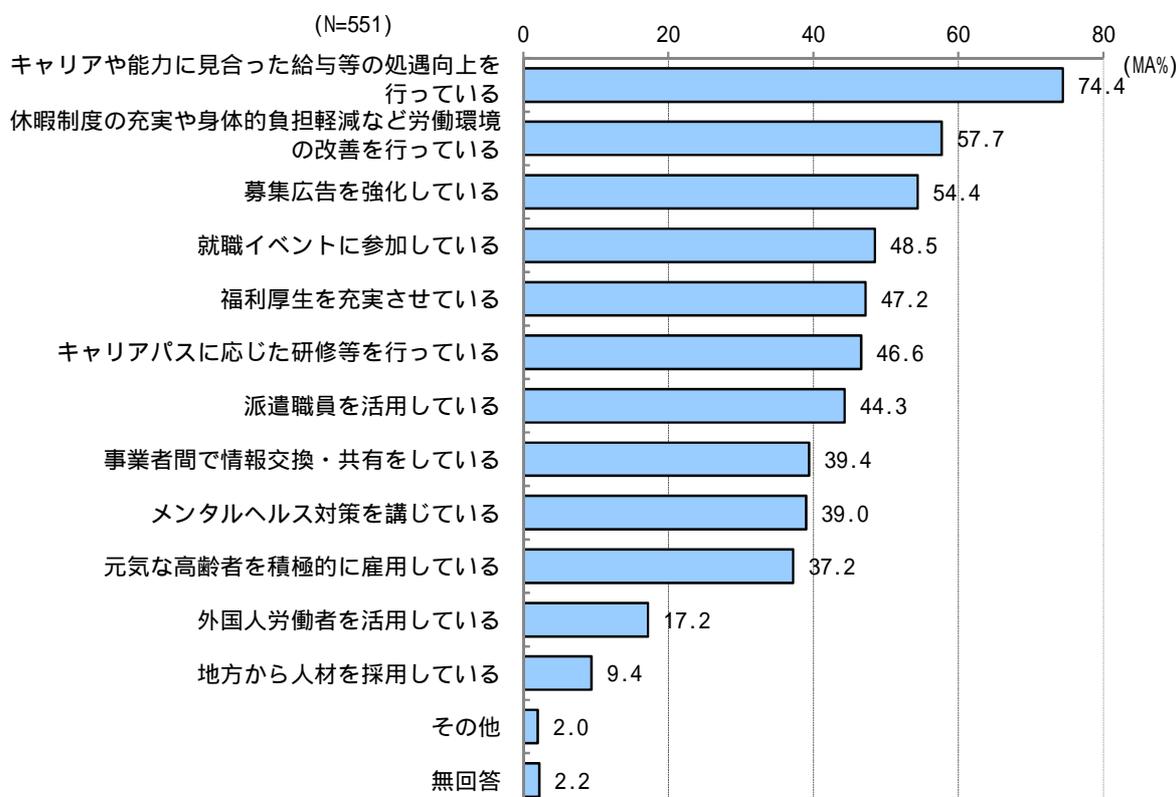
【職員数 (福祉人材の確保の状況別)】



## 問8 (2) 人材確保の取組みについて

(2) 人材確保の取組みについて、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図8(2) 人材確保の取組みについて】



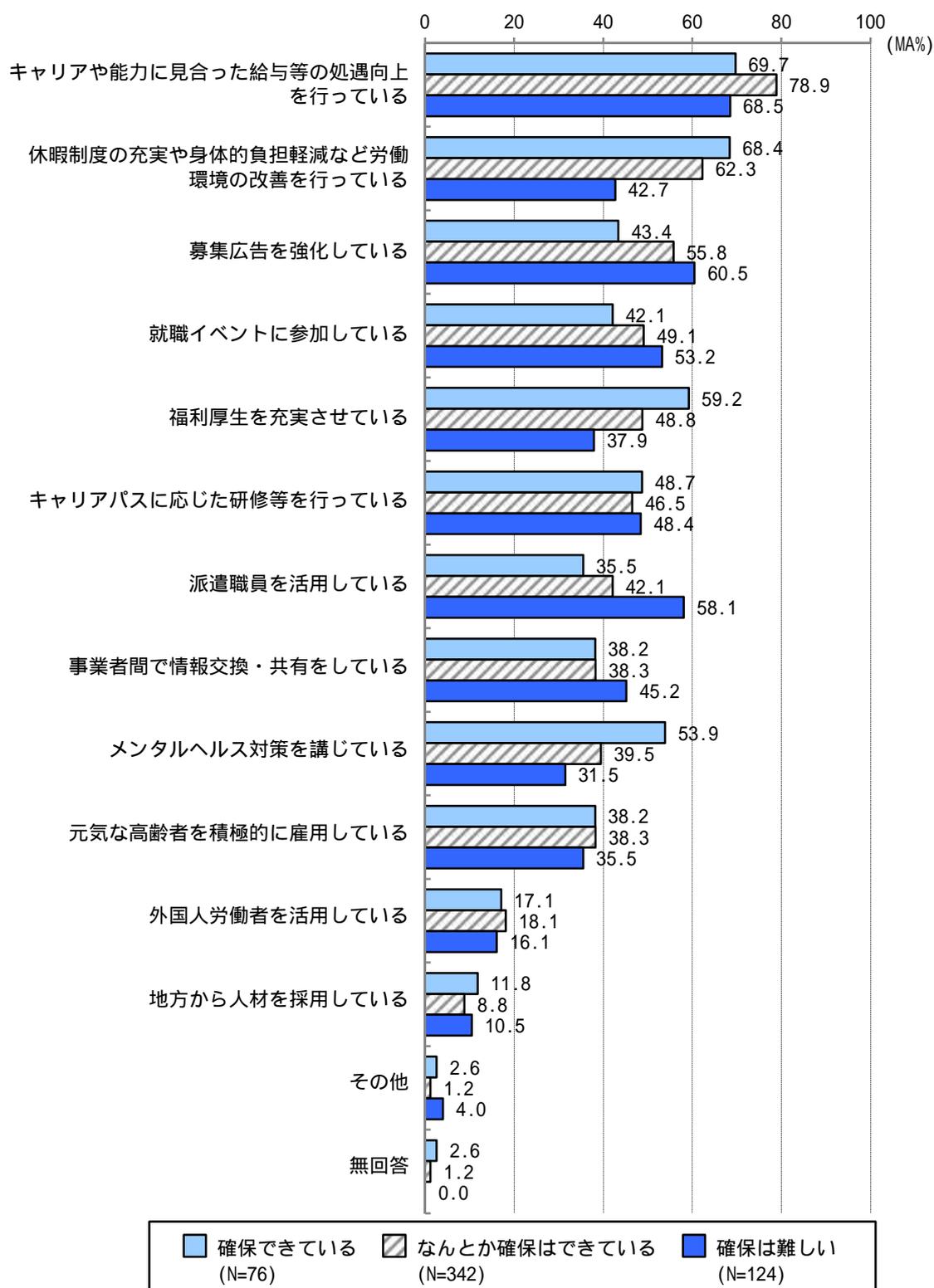
【表8(2)-a 人材確保の取組みについて(施設別)】

	N	キャリアや能力に見合った給与等の処遇向上を行っている	休暇制度の充実や身体的負担軽減など労働環境の改善を行っている	募集広告を強化している	就職イベントに参加している	福利厚生を充実させている	キャリアパスに応じた研修等を行っている	派遣職員を活用している	事業者間で情報交換・共有をしている	メンタルヘルス対策を講じている	元気な高齢者を積極的に雇用している	外国人労働者を活用している	地方から人材を採用している	その他	無回答
特別養護老人ホーム	93	80.6	63.4	54.8	74.2	58.1	62.4	69.9	39.8	60.2	34.4	19.4	19.4	5.4	1.1
地域密着型特別養護老人ホーム	5	60.0	0.0	80.0	60.0	20.0	0.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	48	79.2	62.5	58.3	60.4	47.9	45.8	35.4	39.6	41.7	45.8	16.7	14.6	0.0	0.0
介護療養型医療施設	8	50.0	25.0	37.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0
養護老人ホーム	11	63.6	54.5	36.4	63.6	45.5	45.5	72.7	27.3	45.5	18.2	9.1	18.2	0.0	9.1
軽費老人ホーム	16	25.0	25.0	25.0	37.5	37.5	18.8	25.0	18.8	31.3	25.0	12.5	6.3	0.0	18.8
生活支援ハウス	2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	72.3	57.1	51.3	39.5	42.9	48.7	32.8	48.7	34.5	40.3	14.3	5.9	2.5	0.8
有料老人ホーム	183	79.2	62.3	57.4	42.1	49.7	44.8	44.3	41.5	36.6	38.8	21.3	7.7	1.1	1.6
サービス付き高齢者向け住宅	64	71.9	51.6	62.5	37.5	42.2	42.2	39.1	26.6	29.7	34.4	14.1	4.7	0.0	4.7

全体では、「キャリアや能力に見合った給与等の処遇向上を行っている」が74.4%と最も高く、次いで「休暇制度の充実や身体的負担軽減など労働環境の改善を行っている」が57.7%となっている。(図8(2))

施設別にみると、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅で「キャリアや能力に見合った給与等の処遇向上を行っている」が7割を超えている。(表8(2)-a)

【図8(2)-b 人材確保の取組みについて（福祉人材の確保の状況別）】

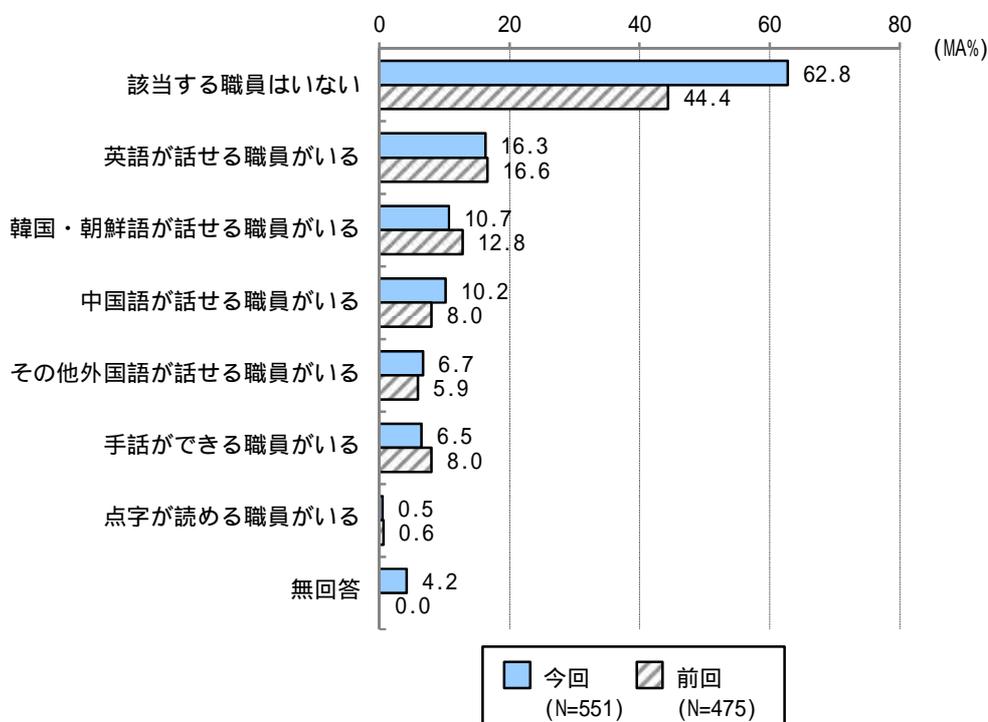


福祉人材の確保の状況別にみると、確保の有無にかかわらず「キャリアや能力に見合った給与等の処遇向上を行っている」が最も多く、“なんとか確保はできている”施設で最も高くなっている。また、「募集広告を強化している」、「就職イベントに参加している」、「派遣職員を活用している」、「事業者間で情報交換・共有をしている」は“確保は難しい”施設で最も高くなっている。(図8(2)-b)

## 問9 施設職員について

施設職員について、該当する職員がいる場合は( )内に人数を記入し、いない場合は7につけてください。(重複している場合は、該当する箇所すべてに含んでください。)

【図9 施設職員について】



【表9-a 施設職員について(施設別)】

(MA%)

	N	該当する職員はいない	英語が話せる職員がいる	韓国・朝鮮語が話せる職員がいる	中国語が話せる職員がいる	その他外国語が話せる職員がいる	手話ができる職員がいる	点字が読める職員がいる	無回答
特別養護老人ホーム	93	50.5	22.6	16.1	18.3	10.8	7.5	0.0	2.2
地域密着型特別養護老人ホーム	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	48	54.2	18.8	10.4	12.5	6.3	10.4	0.0	2.1
介護療養型医療施設	8	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
養護老人ホーム	11	72.7	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1
軽費老人ホーム	16	81.3	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	6.3
生活支援ハウス	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	67.2	13.4	7.6	6.7	3.4	9.2	0.8	4.2
有料老人ホーム	183	61.7	18.0	11.5	9.8	7.7	6.6	1.1	4.9
サービス付き高齢者向け住宅	64	73.4	7.8	12.5	9.4	6.3	1.6	0.0	4.7

全体では、「該当する職員はいない」が62.8%で最も多いが、「英語ができる職員がいる」が16.3%、「韓国・朝鮮語が話せる職員がいる」が10.7%、「中国語が話せる職員がいる」が10.2%となっている。

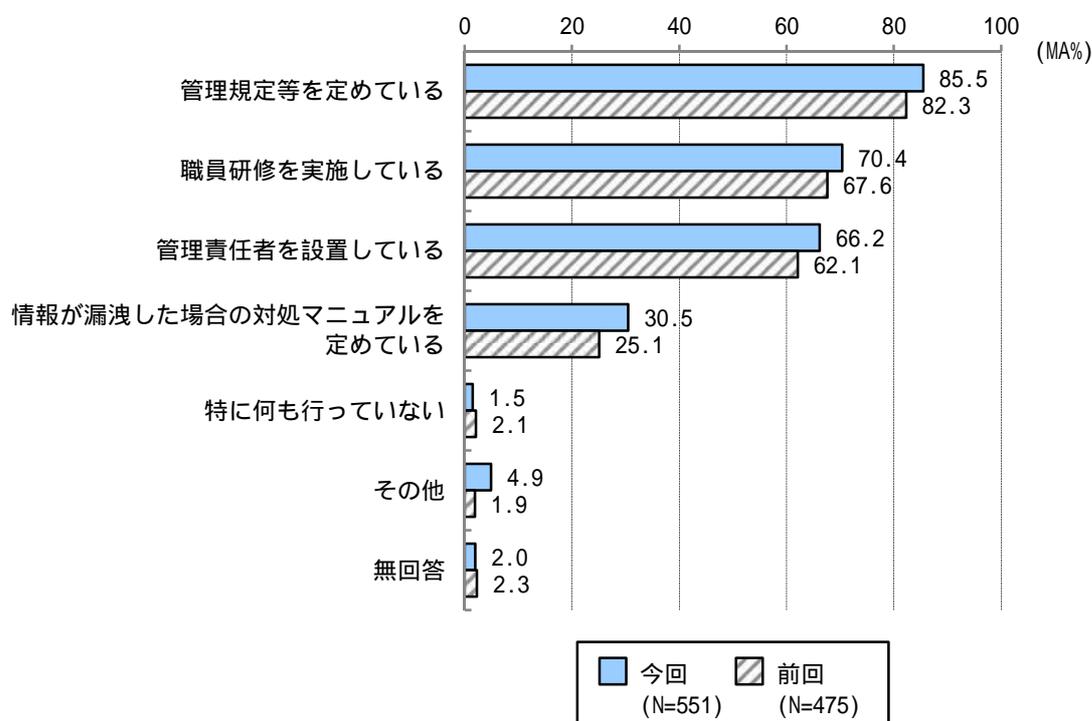
前回調査と比較すると、「該当する職員はいない」が18.4ポイント増加している。(図9)

施設別でみると、特別養護老人ホームと介護療養型医療施設、生活支援ハウスでは、「英語が話せる職員がいる」の割合が比較的高くなっている。(表9-a)

## 問10 個人情報の管理

個人情報の管理について、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図10 個人情報の管理】



【表10-a 個人情報の管理（施設別）】

	N	管理規定等を定めている	職員研修を実施している	管理責任者を設置している	情報が漏洩した場合の対処マニュアルを定めている	特に何も行ってない	その他	無回答
特別養護老人ホーム	93	89.2	72.0	81.7	35.5	2.2	4.3	2.2
地域密着型特別養護老人ホーム	5	80.0	80.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	48	87.5	66.7	60.4	29.2	2.1	0.0	2.1
介護療養型医療施設	8	87.5	62.5	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
養護老人ホーム	11	81.8	54.5	54.5	36.4	0.0	0.0	9.1
軽費老人ホーム	16	75.0	37.5	31.3	18.8	6.3	0.0	0.0
生活支援ハウス	2	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	83.2	76.5	67.2	32.8	0.8	2.5	1.7
有料老人ホーム	183	86.3	72.7	62.8	30.1	1.1	7.7	1.6
サービス付き高齢者向け住宅	64	82.8	65.6	68.8	20.3	1.6	9.4	3.1

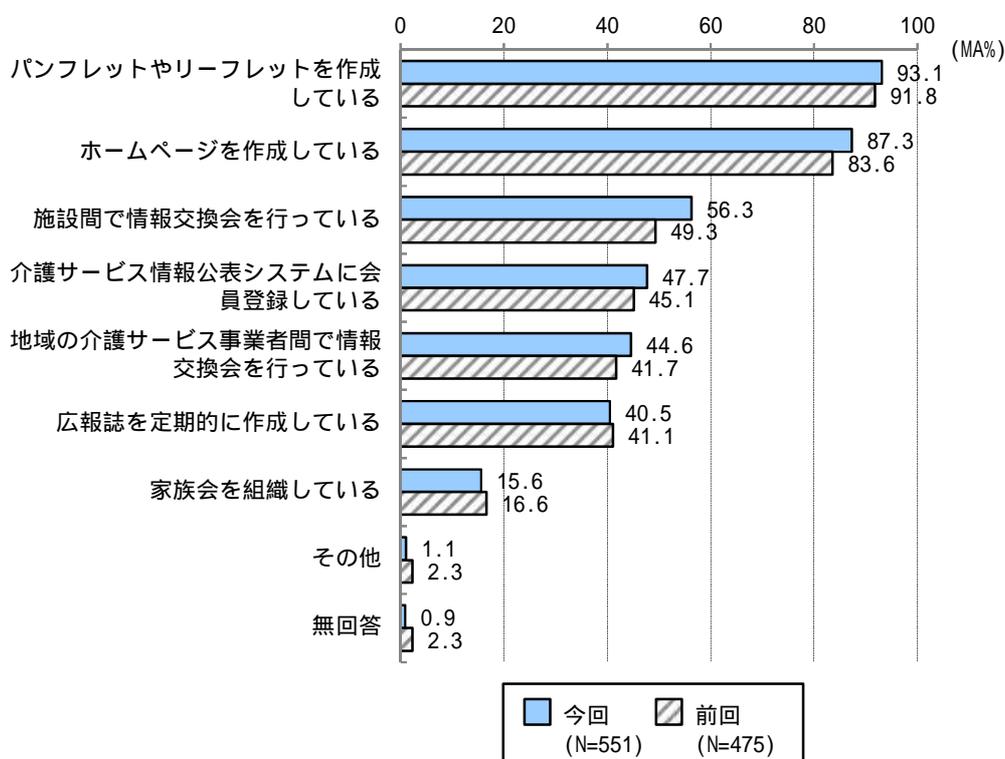
全体では、「管理規程等を定めている」が85.5%と最も高く、次いで「職員研修を実施している」が70.4%、「管理責任者を設置している」が66.2%となっており、いずれの項目も前回より低い割合となっている。（図10）

施設別でも、いずれの施設においても、この3項目が高くなっている。（表10-a）

## 問11 情報提供方法

広報活動など情報提供について、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図11 情報提供方法】



【表11-a 情報提供方法（施設別）】

	N	(MA%)								
		パンフレットやリーフレットを作成している	ホームページを作成している	施設間で情報交換会を行っている	介護サービス情報公表システムに会員登録している	地域の介護サービス事業者間で情報交換会を行っている	広報誌を定期的に作成している	家族会を組織している	その他	無回答
特別養護老人ホーム	93	97.8	95.7	53.8	63.4	52.7	68.8	29.0	1.1	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	5	80.0	80.0	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
介護老人保健施設	48	87.5	97.9	64.6	66.7	52.1	50.0	8.3	0.0	0.0
介護療養型医療施設	8	50.0	75.0	37.5	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
養護老人ホーム	11	63.6	63.6	27.3	18.2	36.4	54.5	18.2	0.0	18.2
軽費老人ホーム	16	100.0	93.8	87.5	12.5	0.0	56.3	0.0	0.0	0.0
生活支援ハウス	2	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	93.3	84.9	75.6	62.2	63.9	37.8	26.1	1.7	0.0
有料老人ホーム	183	95.6	84.2	49.2	37.7	38.8	30.1	10.9	1.1	1.1
サービス付き高齢者向け住宅	64	93.8	85.9	39.1	28.1	25.0	28.1	0.0	0.0	1.6

全体では、「パンフレットやリーフレットを作成している」が93.1%で最も多く、次いで「ホームページを作成している」が87.3%となっている。

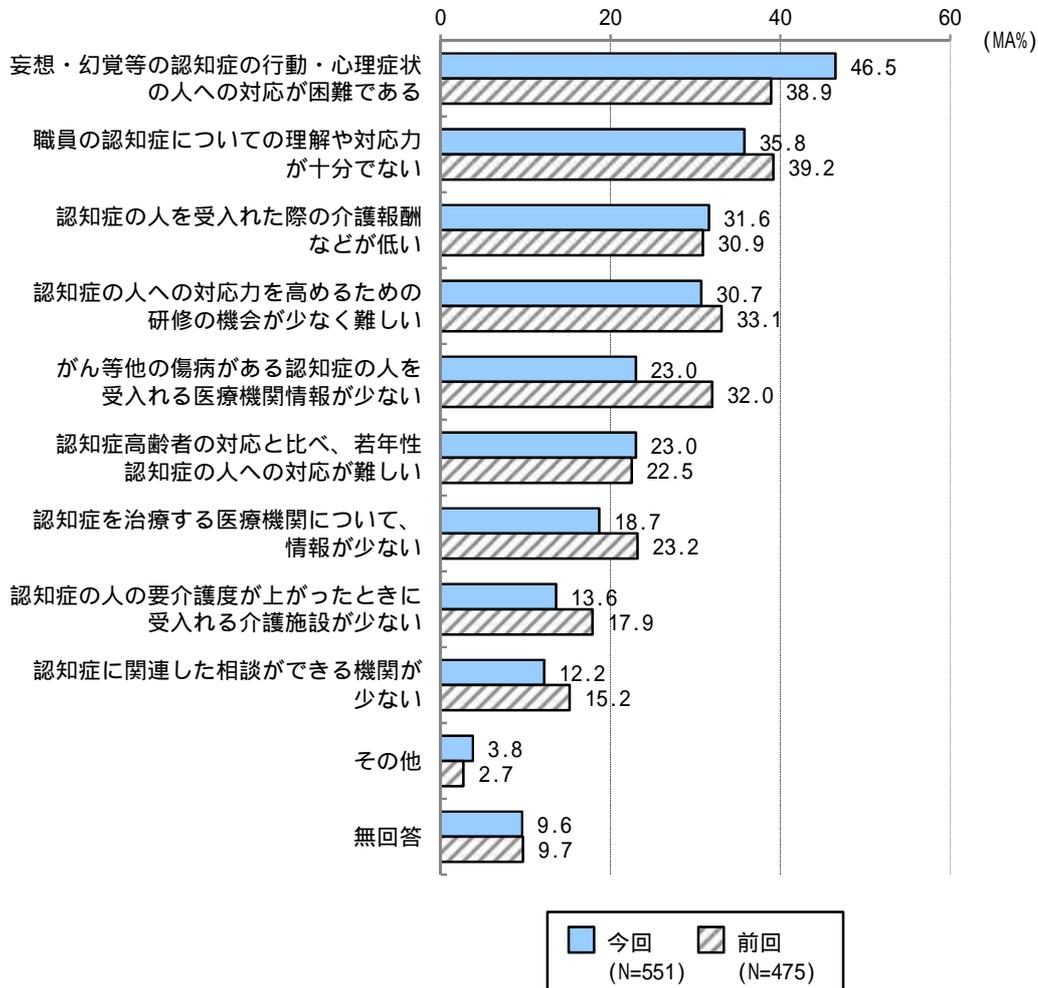
前回調査と比較すると、「施設間で情報交換会を行っている」が7.0ポイント増加している。（図11）

施設別でも、いずれの施設においても、「パンフレットやリーフレットを作成している」、「ホームページを作成している」は5割以上となっている。（表11-a）

## 問12 認知症対応の課題

施設での認知症の人への対応における課題について、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図12 認知症対応の課題】



【表12-a 認知症対応の課題（施設別）】

	N	妄想・幻覚等の認知症の行動・心理症状の人への対応が困難である	職員の認知症についての理解や対応力が十分でない	認知症の人を受入れた際の介護報酬などが低い	認知症の人への対応力を高めるための研修の機会が少なく難しい	がん等の傷病がある認知症の人を受入れる医療機関情報が少ない	認知症高齢者の対応と比べ、若年性認知症の人への対応が難しい	認知症を治療する医療機関について、情報が少ない	認知症の人の要介護度が上がったときに受入れる介護施設が少ない	認知症に関連した相談ができる機関が少ない	その他	無回答
特別養護老人ホーム	93	49.5	49.5	36.6	31.2	32.3	33.3	19.4	7.5	20.4	4.3	8.6
地域密着型特別養護老人ホーム	5	40.0	60.0	80.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	48	54.2	31.3	35.4	20.8	27.1	27.1	18.8	35.4	8.3	2.1	6.3
介護療養型医療施設	8	75.0	37.5	25.0	50.0	12.5	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0
養護老人ホーム	11	63.6	36.4	18.2	18.2	18.2	0.0	9.1	27.3	27.3	0.0	18.2
軽費老人ホーム	16	75.0	25.0	0.0	18.8	25.0	18.8	31.3	37.5	25.0	6.3	0.0
生活支援ハウス	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	38.7	35.3	34.5	33.6	22.7	31.1	15.1	10.1	2.5	2.5	5.9
有料老人ホーム	183	44.3	32.8	31.1	32.2	17.5	15.8	19.7	10.9	14.2	4.4	13.7
サービス付き高齢者向け住宅	64	43.8	29.7	25.0	29.7	26.6	17.2	20.3	9.4	12.5	3.1	10.9

全体では、「妄想・幻覚等の認知症の行動・心理症状の人への対応が困難である」が46.5%と最も多くなっている。

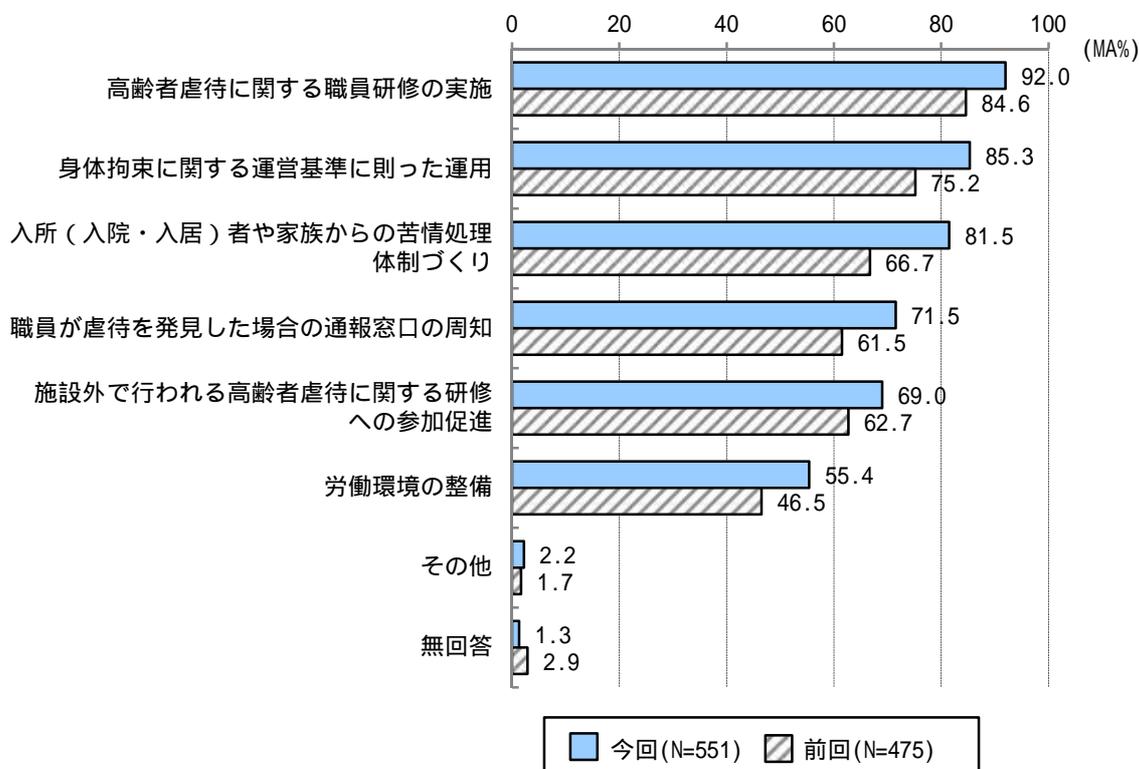
前回調査と比較すると、「がん等他の傷病がある認知症の人を受入れる医療機関情報が少ない」は9.0ポイント減少しているが、「妄想・幻覚等の認知症の行動・心理症状の人への対応が困難である」は7.6ポイント増加している。(図12)

施設別でみると、「妄想・幻覚等の認知症の行動・心理症状の人への対応が困難である」は介護療養型医療施設、養護老人ホーム、軽費老人ホームでは6割以上と高く、地域密着型特別養護老人ホームでは「認知症の人を受入れた際の介護報酬などが低い」が80.0%と最も多くなっている。(表12-a)

### 問13 高齢者虐待の防止対策

高齢者虐待の防止等のために実施している対策について、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図13 高齢者虐待の防止対策（比較）】



【表13-a 高齢者虐待の防止対策（施設別）】

施設	N	(MA%)							
		高齢者虐待に関する職員研修の実施	身体拘束に関する運営基準に則った運用	入所（入院・入居）者や家族からの苦情処理体制づくり	職員が虐待を発見した場合の通報窓口の周知	施設外で行われる高齢者虐待に関する研修への参加促進	労働環境の整備	その他	無回答
特別養護老人ホーム	93	95.7	92.5	92.5	83.9	83.9	64.5	1.1	1.1
地域密着型特別養護老人ホーム	5	80.0	100.0	60.0	20.0	80.0	40.0	20.0	0.0
介護老人保健施設	48	95.8	85.4	81.3	66.7	70.8	52.1	2.1	2.1
介護療養型医療施設	8	87.5	75.0	87.5	50.0	62.5	37.5	0.0	0.0
養護老人ホーム	11	81.8	45.5	63.6	36.4	72.7	18.2	0.0	9.1
軽費老人ホーム	16	62.5	50.0	68.8	43.8	50.0	12.5	6.3	0.0
生活支援ハウス	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	95.0	86.6	79.8	68.9	66.4	62.2	1.7	0.0
有料老人ホーム	183	93.4	90.7	84.7	75.4	69.4	56.8	2.2	1.1
サービス付き高齢者向け住宅	64	84.4	76.6	70.3	71.9	53.1	50.0	3.1	3.1

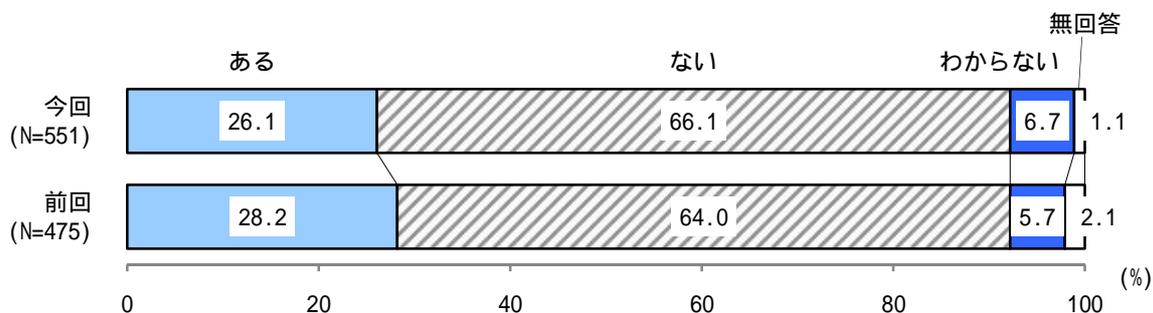
全体では、「高齢者虐待に関する職員研修の実施」が92.0%で最も多く、次いで「身体拘束に関する運営基準に則った運用」が85.3%となっており、いずれの項目も、前回よりも高い割合となっている。（図13）

施設別でみると、「高齢者虐待に関する職員研修の実施」はいずれの施設も6割以上と高く、「入所（入院・入居）者や家族からの苦情処理体制づくり」では特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、有料老人ホームで8割を超えている。（表13-a）

## 問14 高齢者虐待理由での受け入れ状況

平成25年10月1日以降に高齢者虐待を受けたことを理由に入所（入院・入居）者を受入れたことがありますか。（ はひとつ）

【図14 高齢者虐待理由での受け入れ状況（比較）】



【表14-a 高齢者虐待理由での受け入れ状況（施設別）】

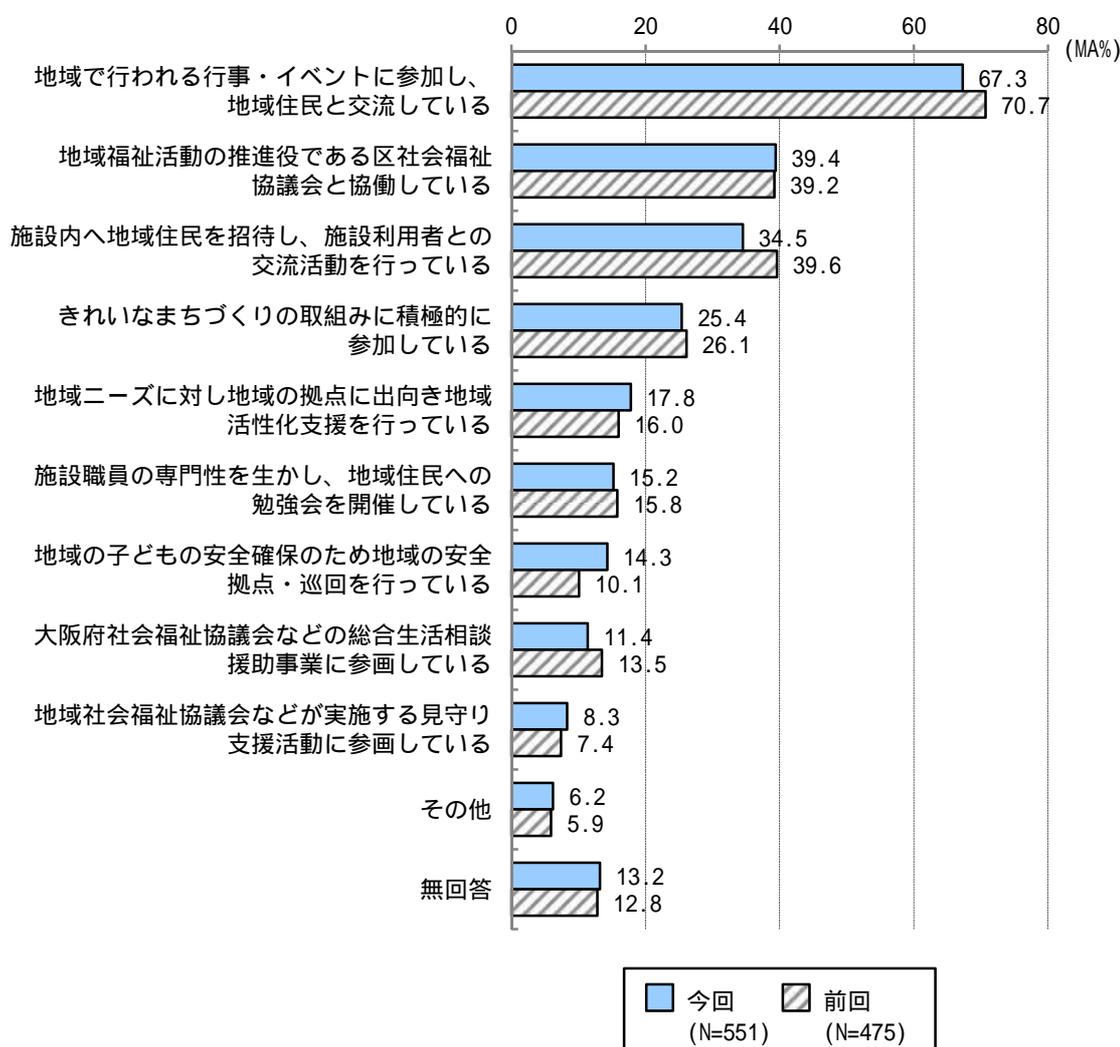
	N	ある (%)	ない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
特別養護老人ホーム	93	59.1	34.4	5.4	1.1
地域密着型特別養護老人ホーム	5	40.0	60.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	48	39.6	52.1	8.3	0.0
介護療養型医療施設	8	0.0	87.5	12.5	0.0
養護老人ホーム	11	90.9	0.0	0.0	9.1
軽費老人ホーム	16	12.5	87.5	0.0	0.0
生活支援ハウス	2	100.0	0.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	7.6	85.7	5.9	0.8
有料老人ホーム	183	14.2	76.5	8.2	1.1
サービス付き高齢者向け住宅	64	26.6	64.1	7.8	1.6

全体では、「ある」が26.1%となっており、前回より2.1ポイント低下している。（図14）施設別でみると、「ある」は生活支援ハウス、養護老人ホームでは9割を超え、高くなっている。（表14-a）

## 問15 地域福祉に貢献していること

地域福祉に貢献していることについて、あてはまるものすべてに をつけてください。

【図15 地域福祉に貢献していること】



全体では、「地域で行われる行事・イベントに参加し、地域住民と交流している」が67.3%と最も多く、次いで「地域福祉活動の推進役である区社会福祉協議会と協働している」が39.4%となっている。

前回調査と比較すると、「施設内へ地域住民を招待し、施設利用者との交流活動を行っている」は5.1ポイント減少しているが、「地域の子どもの安全確保のため地域の安全拠点・巡回を行っている」は4.2ポイント増加している。(図15)

施設別でみると、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、生活支援ハウス、認知症高齢者グループホームでは、「地域で行われる行事・イベントに参加し、地域住民と交流している」が、8割以上となっている。(表15-a)

【表15-a 地域福祉に貢献していること（施設別）】

	N	交流している 地域で参加 している 地域行事・イ ベント	地域福祉活動 の推進と協 働	施設内へ地域 住民を招待 し、施設利用 者との交流活 動を行っている	みきれいなま ちづくりに取 組む	地域ニーズに 対し活性化の 支援	施設職員の専 門性を生かす 機会を創出す こと	地域の子どもの 安全確保・巡 回	大府社会福祉 協議会など の生活相談業 務	地域社会福祉 協議会など の活動	その他	(MA%) 無回答
特別養護老人ホーム	93	87.1	60.2	50.5	34.4	40.9	35.5	31.2	43.0	18.3	4.3	1.1
地域密着型特別養護老人ホーム	5	60.0	40.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	48	54.2	39.6	39.6	18.8	27.1	25.0	14.6	4.2	6.3	8.3	16.7
介護療養型医療施設	8	75.0	25.0	12.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5
養護老人ホーム	11	90.9	36.4	18.2	0.0	9.1	9.1	9.1	45.5	9.1	9.1	0.0
軽費老人ホーム	16	75.0	50.0	31.3	31.3	18.8	12.5	18.8	31.3	6.3	6.3	12.5
生活支援ハウス	2	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	91.6	47.1	41.2	34.5	18.5	12.6	14.3	4.2	14.3	4.2	1.7
有料老人ホーム	183	56.3	29.5	26.2	22.4	8.2	8.7	8.2	2.2	3.3	7.1	21.3
サービス付き高齢者向け住宅	64	26.6	23.4	18.8	17.2	6.3	1.6	7.8	0.0	1.6	9.4	31.3

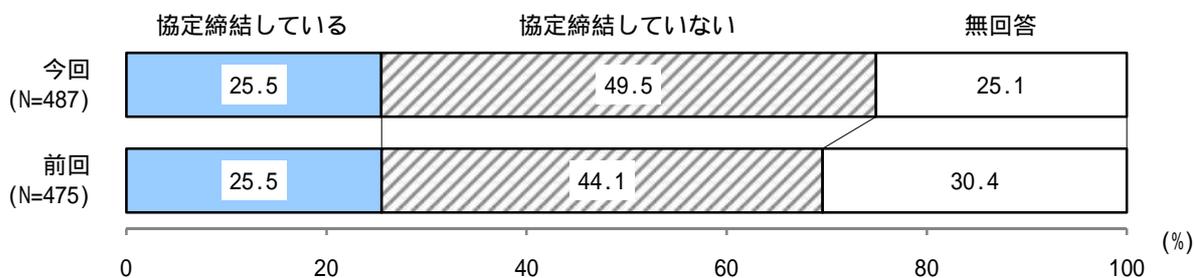
## 問16 (1) 福祉避難所の協定締結

《サービス付き高齢者向け住宅以外の施設におたずねします》

災害時における福祉避難所の協定締結について、あてはまるものすべてに をつけてください。

(1) 福祉避難所の協定締結について

【図16(1) 福祉避難所の協定締結】



【表16(1)-a 福祉避難所の協定締結 (施設別)】

	N	協定締結している (%)	協定締結していない (%)	無回答 (%)
特別養護老人ホーム	93	54.8	22.6	22.6
地域密着型特別養護老人ホーム	5	40.0	20.0	40.0
介護老人保健施設	48	20.8	58.3	20.8
介護療養型医療施設	8	0.0	75.0	25.0
養護老人ホーム	11	72.7	9.1	18.2
軽費老人ホーム	16	68.8	6.3	25.0
生活支援ハウス	2	50.0	50.0	0.0
認知症高齢者グループホーム	119	19.3	58.0	22.7
有料老人ホーム	183	8.7	61.7	29.5
サービス付き高齢者向け住宅	0	0.0	0.0	0.0

全体では、「協定締結している」が25.5%となっているが、まだ、半数の施設が協定を締結していない状況である。

前回調査と比較すると、「協定締結していない」が5.4ポイント増加している。(図16(1))

施設別でみると、「協定締結していない」は介護療養型医療施設、有料老人ホームで6割以上となっている。(表16(1)-a)